

SOARS⁺ / GUIDER⁺

Ver1.53 改定内容説明書

目次

1. はじめに.....	3
2. マニュアルの表記について	3
• クリック	3
• 左ダブルクリック.....	3
• 右クリック.....	3
• ドラッグ	3
• ボタン.....	3
• メニュー	3
• プログラム名やダイアログボックスタイトル、テキストガイド	3
• 文書内項目名、他文書名、ファイル名、ファイルパス名	3
3. 改定概要.....	4
A. 土地家屋調査士支援システム「表+」との連携対応	4
B. 「不動産調査報告書入力ソフト」への情報出力対応	4
C. 軽微な改良	4
4. 改定における詳細	5
A. 土地家屋調査士支援システム「表+」との連携対応	5
• 表+ 登記情報出力（土地ノート）.....	5
• 表+ 登記情報出力（普通建物ノート）	9
• 表+ 登記情報出力（区分建物ノート-棟）.....	11
• 表+ 登記情報出力（区分建物ノート-専有部分）.....	13
• 表+ 登記情報出力の「その他」	14
B. 「不動産調査報告書入力ソフト」への情報出力対応	15
• 不動産報告書観測情報出力	15
C. 軽微な改良	17
• クリップボードの登録、クリップボードの登録（領域）	17

1. はじめに

平素より、ニコン・トリンプル製品をご愛顧賜り、誠にありがとうございます。
本書には、SOARS+/GUIDER+ Ver1.53 ご提供時における商品の改定内容を取りまとめております。必ず、新しい機能のご利用前にご確認ください。

2. マニュアルの表記について

本マニュアルでは以下の様に各項目を表記します。



• クリック

マウスの左ボタンを押してすぐ離す事をいいます。
⇒画面表示上は左のようなパターンで表します。



• 左ダブルクリック

左クリックをすばやく2回行う事をいいます。
⇒画面表示上は左のようなパターンで表します。



• 右クリック

マウスの右ボタンを押してすぐ離す事をいいます。
⇒画面表示上は左のようなパターンで表します。



• ドラッグ

左ボタンを押したまま引きずるようにマウスを移動する事をいいます。
⇒画面表示上は左のようなパターンで表します。

• ボタン

ダイアログボックス内に表示されるボタンは《 》で囲んで表記しています。
例:《OK》ボタンをクリック

• メニュー

メニューバーに表示されるメニュー名は[]で囲んで表記しています。
また、サブメニューを説明するときは「→」で繋いで表記します。
例:[ファイル]→[上書き保存]をクリック

• プログラム名やダイアログボックスタイトル、テキストガイド

プログラム名やダイアログボックスタイトルバー及び表示されるガイド文字は「 」で囲んで表記しています。
例:「ファイルを開く」ダイアログを閉じます。

• 文書内項目名、他文書名、ファイル名、ファイルパス名

他の既製文書やファイル名などは『 』で囲んで表記しています。
例:『C:¥WINNT』

3. 改定概要

a. 土地家屋調査士支援システム「表+」との連携対応

TOWISE の登記対応としてリリースされた、土地家屋調査士支援システム「表+」へ登記情報などを提供できるようにしました。

「表+」は申請書などの登記書類作成のためのシステムで、SOARS+とは部分的に重複した機能となりますが、オンライン申請における機能では法務省提供の「申請書作成支援ソフト」の利用が必要なく、より使いやすい環境のご提供や電子署名に関して独自の機能を提供など導入メリットが多く存在します。

【対象】GUIDER+

土地ノート

【対象】SOARS+

土地ノート、普通建物ノート、区分建物ノート

【注意点】

作成されるファイルの拡張子は「.tif」です。

土地家屋調査士支援システム「表+」での取り込み方法については、「表+」の説明書を参照ください。

「事件タイプ」という登記目的の指定が出力時に必要ですが、その中には登記に図面や面積数値が関係するものだけが列挙されます。

b. 「不動産調査報告書入力ソフト」への情報出力対応

「日本土地家屋調査士会連合会」(以下略称「日調連」)が提供する「不動産調査報告書入力ソフト」(以下略称「規則 93 条ソフト」)で取り込むことのできるファイルを作成します。

データ取り込みの可能な「規則 93 条ソフト」のバージョンなどに関しては日調連へお問い合わせください。

【対象】SOARS+/GUIDER+共通

土地ノート

【注意点】

作成されるファイルの拡張子は「.ini」です。そして同じ場所に同名の拡張子が異なるファイル「.txt」も作成します。この2つのファイルがなければデータの受け渡しは行えませんのでご注意ください。

「規則 93 条ソフト」での取り込み方法については、「規則 93 条ソフト」の説明書やヘルプを参照ください。

c. 軽微な改良

CAD のクリップボードコマンドでコピー時に拡張 Windows メタファイル形式で保管できるようになりました。

「規則 93 条ソフト」の「素図」などの利用に有効です。

【対象】SOARS+/GUIDER+共通

数値平板 CAD、製図 CAD、普通建物 CAD、区分建物 CAD、縦断図専用 CAD、横断図専用 CAD、申請書編集処理、定型文書編集処理

4. 改定における詳細

a. 土地家屋調査士支援システム「表+」との連携対応

- 表+ 登記情報出力（土地ノート）

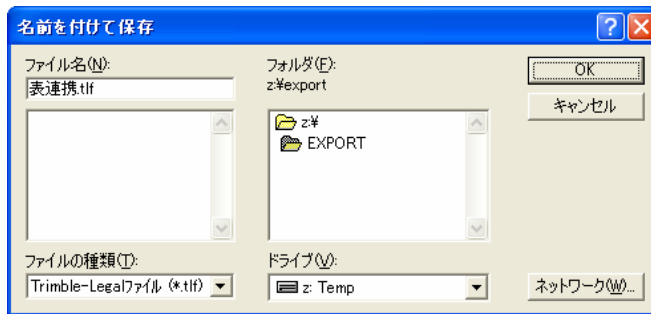
【起動場所】SOARS+/GUIDER+共通

「座標・外部」インデックス 表+ 登記情報出力

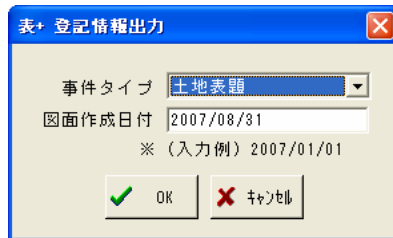


【操作方法】

起動すると次のようなファイル選択画面を表示します。



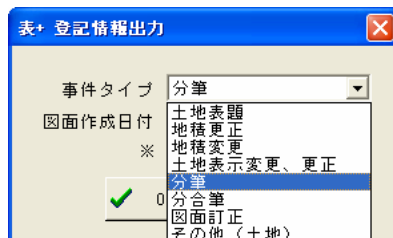
ファイルを選択すると次のような基本設定画面を表示します。



登記種別として「事件タイプ」を選択します。この選択によって次に表示する画面が変化します。

また、登記に関係する図面を作成した日付を入力します。

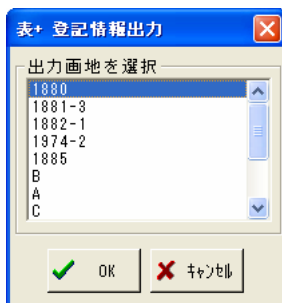
日付の入力は必ず半角10文字の入力で年月日の区切りにはスラッシュ「/」、月日が1桁の場合は前にゼロ「0」を付加してください。



「事件タイプ」はこのような種類があります。

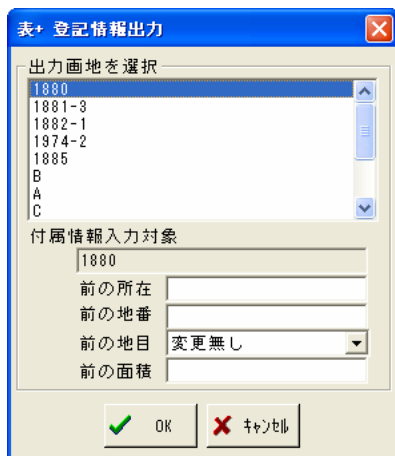
基本設定画面の次は事件タイプに応じて画面が異なります。

「土地表題／図面訂正／その他(土地)」のいずれかの場合
次のような画面を表示します。



出力対象の画地を選択して《OK》を押すと、出力して終了します。

「地積更正／地積変更／土地表示変更、更正」のいずれかの場合
次のような画面を表示します。



画地を指示すると指示した画地(付属情報入力対象に表示されている画地)に対して情報が入力できます。

※ 地積更正、地積変更の場合は「前の面積」のみ編集可能です

※ 地積更正、地積変更の場合は「前の面積」に公簿面積を仮登録しています

新しい情報は画地属性に登録されているものとして出力します。

新面積は画地(境界)から計算して出力します。

出力対象の画地を選択して《OK》を押すと、出力して終了します。

「分筆／分合筆」のいずれかの場合

次のような画面を表示します。

表+ 登記情報出力

分筆情報 (1/1)

<< 前へ 新規 削除 次へ >>

元地 1880

公簿面積 638.68

残地 クリア 1880-1

残地分割符号 (<イ>)

求積地 追加 削除

1880-2
1880-3
1880-4

求積地符号編集対象
1880-2

分割符号 (<ロ>)

OK キャンセル

分筆情報として元地、残地、求積地情報を入力します。
元地を指定すると、その画地の公簿面積を取得し仮表示します。
求積地の面積は画地(境界)から計算して出力します。

分筆情報は複数登録でき、《新規》で新規分筆情報入力へ移ります。

《前へ》《次へ》は複数分筆情報の表示を切り替えます。

《元地》《残地》または求積地の《追加》ボタンを押すと画地の既存リストを表示し、その中から選択することができます。

残地の《クリア》ボタンは残地の指定を破棄します。

分筆情報の《削除》、求積地の《削除》はそれぞれの表示または選択情報を削除します。

それぞれの入力を行い《OK》を押すと、分筆の場合は出力して終了します。

分合筆の場合は次の画面を表示します。

表+ 登記情報出力

合筆情報 (1/1)

<< 前へ 新規 削除 次へ >>

合筆先 1885

公簿面積 1580

合筆する分筆地 追加 削除

1880-4

OK キャンセル

合筆情報として合筆先、分筆結果から合筆する部分の指定を行います。
合筆先を指定すると、その画地の公簿面積を取得し仮表示します。

合筆情報は複数登録でき、《新規》で新規合筆情報入力へ移ります。

《前へ》《次へ》は複数合筆情報の表示を切り替えます。

《合筆先》ボタンを押すと画地の既存リストを表示し、その中から選択することができます。

合筆する分筆地の《追加》ボタンを押すと分筆情報で指定した残地と求積地のリストを表示し、その中から選択することができます。

合筆情報の《削除》、合筆する分筆地の《削除》は、それぞれの表示または選択情報を削除します。

それぞれの入力を行い《OK》を押すと、出力して終了します。

- 表+ 登記情報出力（普通建物ノート）

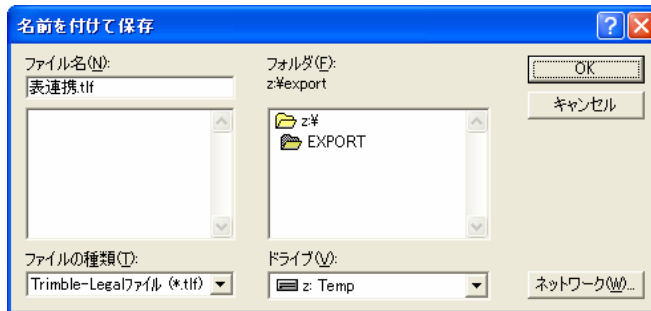
【起動場所】SOARS+のみ

「普通建物」インデックス 表+ 登記情報出力

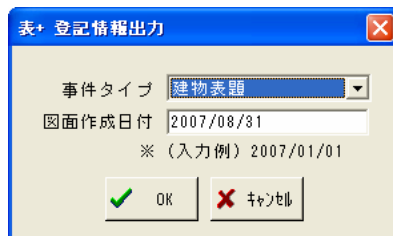


【操作方法】

起動すると次のようなファイル選択画面を表示します。



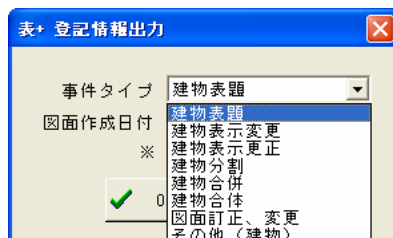
ファイルを選択すると次のような基本設定画面を表示します。



登記種別として「事件タイプ」を選択します。この選択によって次に表示する画面が変化します。

また、登記に関係する図面を作成した日付を入力します。

日付の入力は必ず半角10文字の入力で年月日の区切りにはスラッシュ「/」、月日が1桁の場合は前にゼロ「0」を付加してください。



「事件タイプ」はこのような種類があります。

基本設定画面の次は出力建物の選択と事件タイプに応じて必要な入力を行います。

表+ 登記情報出力

出力建物を選択

55

付属情報入力対象

55

地番

分割符号

OK キャンセル

建物を指示すると指示した建物(付属情報入力対象に表示されている建物)に対して情報が入力できます。

※ 建物分割、建物合併の場合のみ「地番」の編集が可能です

※ 建物分割の場合のみ「分割符号」の編集が可能です

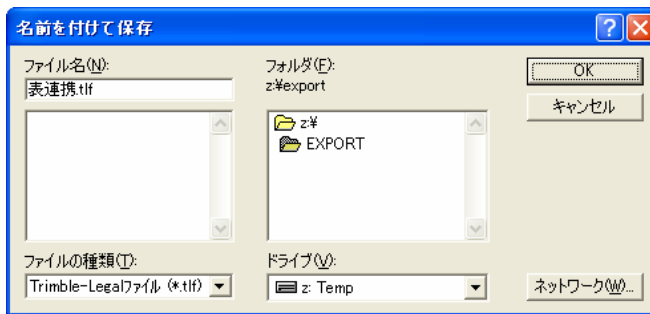
出力対象の建物を選択して《OK》を押すと、出力して終了します。

- 表+ 登記情報出力（区分建物ノート-棟）
【起動場所】 SOARS+のみ
「棟」インデックス 表+ 登記情報出力

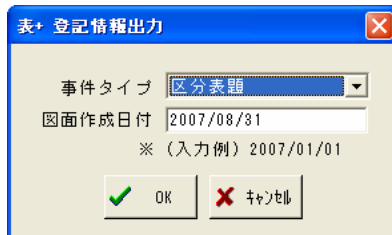


【操作方法】

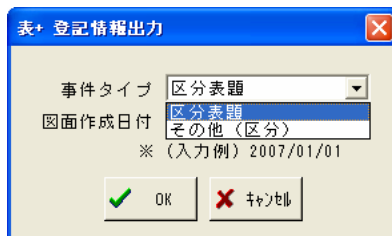
起動すると次のようなファイル選択画面を表示します。



ファイルを選択すると次のような基本設定画面を表示します。

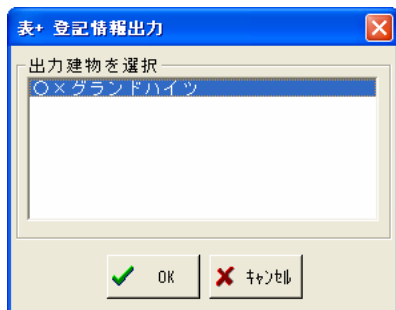


登記種別として「事件タイプ」を選択します。この選択によって次に表示する画面が変化します。また、登記に関する図面を作成した日付を入力します。日付の入力は必ず半角10文字の入力で年月日の区切りにはスラッシュ「/」、月日が1桁の場合は前にゼロ「0」を付加してください。



「事件タイプ」はこのような種類があります。

基本設定画面の次は出力一棟建物の選択を行います。



出力対象の一棟建物を選択して《OK》を押すと、出力して終了します。

【注意点】

SOARS の敷地権情報は表+へ連携しません。

- 表+ 登記情報出力（区分建物ノート - 専有部分）

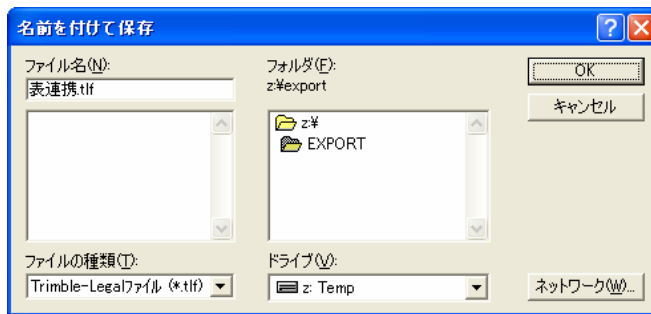
【起動場所】 SOARS+のみ

「専有部分」インデックス 表+ 登記情報出力

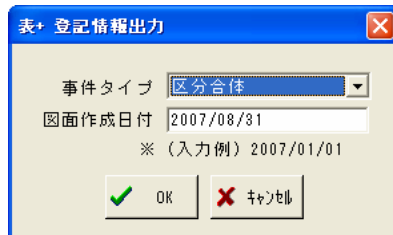


【操作方法】

起動すると次のようなファイル選択画面を表示します。



ファイルを選択すると次のような基本設定画面を表示します。

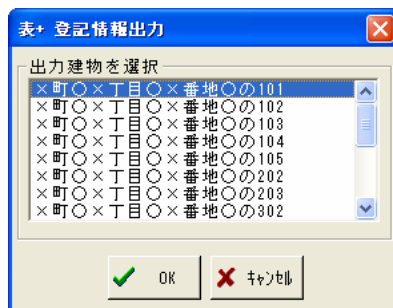


登記種別である「事件タイプ」には「区分合体」のみ存在します。

登記に関係する図面を作成した日付を入力します。

日付の入力は必ず半角10文字の入力で年月日の区切りにはスラッシュ「/」、月日が1桁の場合は前にゼロ「0」を付加してください。

基本設定画面の次は出力専有部分（区分建物）の選択を行います。



出力対象の専有部分（区分建物）を選択して《OK》を押すと、出力して終了します。

【注意点】

SOARS の敷地権情報は表+へ連携しません。

• **表+ 登記情報出力の「その他」**

SOARS から出力したファイルは表+の「TLF 取込」で取得しますが、その際、出力事件タイプに適した事件への登録が必要になります。

土地、普通、区分には「その他(～)」の事件タイプがあります。

これらは次の事件への取り込みが可能です。

1. 「その他(土地)」に該当する事件
 - ・所在変更、所在更正
 - ・地目変更、地目更正
 - ・合筆
 - ・土地所有者の表示変更、更正
 - ・土地の滅失、抹消
 - ・登記事項、地図、図面証明書送付請求(土地用)
2. 「その他(建物)」に該当する事件
 - ・建物所有者の表示変更、更正
 - ・建物の滅失、抹消
 - ・登記事項、地図、図面証明書送付請求(通常建物用)
3. 「その他(区分)」に該当する事件
 - ・区分建物の変更(敷地権表示、敷地権抹消)
 - ・共用部分に関する登記(共用部分たる旨の登記、共用部分の廃止)
 - ・区分建物の滅失
 - ・登記事項、地図、図面証明書送付請求(区分建物用)

b. 「不動産調査報告書入力ソフト」への情報出力対応

● 不動産報告書観測情報出力

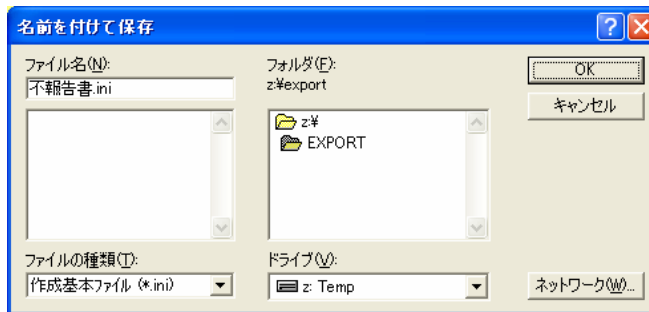
【起動場所】土地ノート SOARS+/GUIDER+共通

「座標・外部」インデックス 不動産報告書観測情報出力

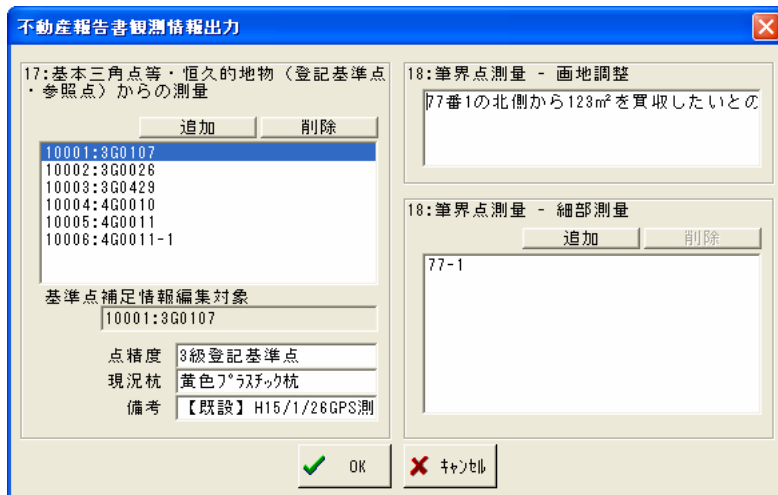


【操作方法】

起動すると次のようなファイル選択画面を表示します。



ファイルを選択すると次のような出力情報指定画面を表示します。



左上の《追加》ボタンを押して、調査対象地の観測に利用した既知点を選択します。
指定した点に対する情報をそれぞれリストで選択しながら入力します。

入力したデータは、出力時に以下の形式で出力されます。

点精度 測点名称(X,Y) 現況杭備考

※緑字の部分に情報が差し込まれます

※測点の名称が登録されていない場合、"<名称無>"という文字が出力されます

※座標値は、「小数第三位/四捨五入」固定で出力されます

※1測点を1行の情報として出力します

その後、「画地調整」に必要な文言を入力し、調査対象地を右中部の《追加》ボタンで画地登録します。

選択した画地の境界点を視準点とする野帳データを自動検索して出力を行います。

出力は器械点単位で出力し、以下の形式で出力します。

※器械点 器械測点名称---後視点後視測点名称 [放射]

視準点

視準点名称(X,Y), 視準点名称(X,Y), 視準点名称(X,Y), 視準点名称(X,Y),

※器械点 器械測点名称---後視点後視測点名称 [放射]

視準点

視準点名称(X,Y), 視準点名称(X,Y), 視準点名称(X,Y), 視準点名称(X,Y),

※緑字の部分に情報が差し込まれます

※測点の名称が登録されていない場合、"<名称無>"という文字が出力されます。

※座標値は、「少数3位/四捨五入」固定で出力されます。

※野帳に存在しない境界点は器械点/後視点部分が以下のように出力されます。

「※器械点(不明)---後視点(不明) [放射]」

それら出力情報を指定して《OK》を押すと、出力して終了します。

【注意点】

測点には必ず名称を登録してください。

c. 軽微な改良

- クリップボードの登録、クリップボードの登録（領域）

【起動場所】 SOARS+/GUIDER+共通

対象 CAD:

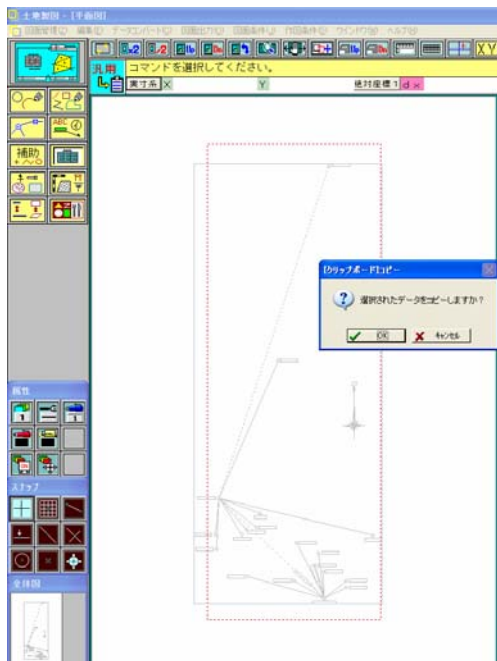
数値平板 CAD、製図 CAD、普通建物 CAD、区分建物 CAD、縦断面専用 CAD、横断面専用 CAD、申請書編集処理、定型文書編集処理

【操作方法】製図 CAD で説明

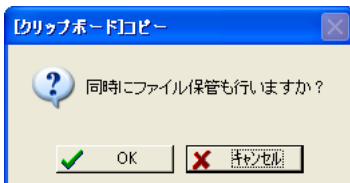
クリップボードの登録を起動します。



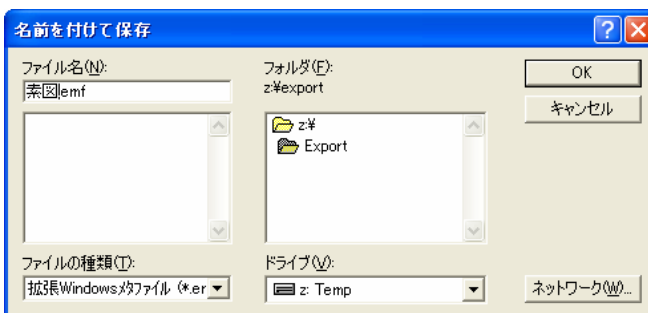
従来どおりコピーする対象を選択します。



コピーを行うと、その後、次の画面を表示します。

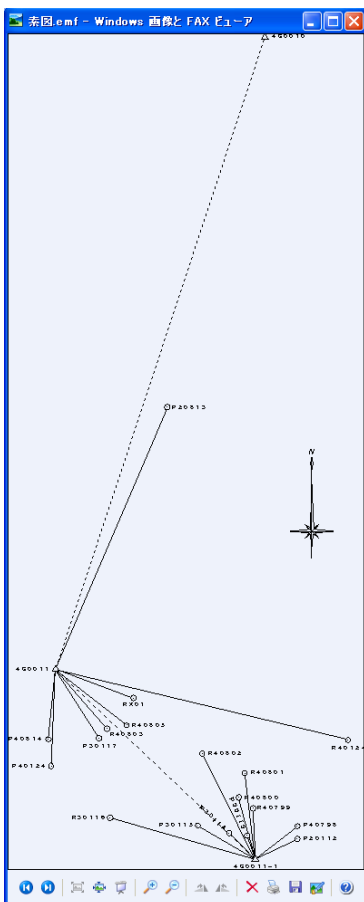


《OK》ボタンを押すとファイル選択画面を表示します。



ファイル保管場所を指定して、ファイル名を入力し、《OK》すれば登録終了です。

Windows のビューで見ると次のように表示できます。



このプログラムおよび使用説明書は、著作権上、当社に無断で使用、複製することはできません。

このプログラムおよび使用説明書の使用によって発生する直接・間接・特別・偶然または必然的な損益については、一切の責任を負いません。

本製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、当社にご連絡下さい。

このプログラムおよび使用説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright © 2003-2007 Nikon-Trimble Co.,Ltd. All rights reserved.

発行: 2007 年 8 月

株式会社 **ニコン・トリンブル**

<http://www.nikon-trimble.co.jp/>